

■南九州市一の農業地帯

松山地区は、茶、さつまいも、野菜の生産や、養鶏・牛・豚の飼育も盛んに行われており、南九州市一の農業地帯です。昔は、水の便が悪く生活用水にも困るほどでありましたが、昭和45（1970）年以降実施した南薩畑かん事業で池田湖から引いた水を利用したことにより、大規模な農業経営が行われるようになりました。



■水に乏しい地域

この地域は、昔から水に乏しく、また、地下水の湧き出るところもなく、生活用水には大変困っていたのです。



宝暦8（1758）年集落中央の谷間を利用して溜池を作り、各家庭では水がめや石船、水タンクを備え雨水を蓄えて生活用水に使用していました。また嘉永5（1852）年に第二の溜池を作り、池のほとりに水神を建立しました。その後、昭和14（1939）年によく地下水を発見された場所に「発見記念の碑」が建てられています。

■知覧節の発祥の地

「知覧節」は大隣が発祥の地で、もともと大隣節とも大隣岳節とも言われていました。これを知覧節というようになったのは、知覧全域からこのような歌が生まれて、知覧を代表する民謡となったからです。この歌は、安政4（1857）年頃の幕末維新のころから、大いに歌われていました。その後、踊りの振付も出来て、青年団を中心に文化祭や結婚式等で踊られるようになりました。



松山地区 地域の「お宝」マップ



昔の方々の努力により開かれた農業地帯
南九州市の農業を担う地区



銭太鼓の衣装（菊永）

知覧節の踊り

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 曉鳥 敏 掛軸 ② 二松中学校跡 ③ 田の神像 ④ 大隣の明神神社(稲荷神社) ⑤ 馬頭観音 ⑥ 馬頭観音 ⑦ 馬頭観音(大隣明神神社) ⑧ 板碑(ヒゲボトケドン) ⑨ 松山の水神様 ⑩ 井戸発見記念碑 ⑪ 井戸記念碑 | <ul style="list-style-type: none"> ⑫ ゼンモンツボケ石 ⑬ 上水道記念碑 ⑭ 洞窟・ミヤン ⑮ 御本陣跡 ⑯ 西垂水道跡 ⑰ 陣の岡 ⑱ 登立遺跡 ⑲ 知覧節碑 ⑳ 忠魂碑 ㉑ 清原庵跡 ㉒ 赤石鉾山 |
|---|---|